

# ともだちのことを おもうって? —友情, 信頼—

1年特別の教科 道徳 9月 1時間 附属新潟小学校 教諭 剣 仁美

## 1 本主題で目指す姿

### 「友情, 信頼」についての道徳的価値の大切さを理解し, よりよい行為を判断する子ども

具体的には, 「友情, 信頼」についての道徳的価値の本質や意義に着目し, 経験を基に考えたり, 多面的・多角的に考えたりするという「見方・考え方」を働かせ, 価値の理解を深めるとともに, どのように行動したらよいかを具体的に考え表現し, 判断する力という資質・能力を発揮して「お誕生会に行きます。でも, 音楽会の練習をする日だから, みんなに言って音楽会の練習は別の日にしようと言います。みんなでお祝いをした方がやまがらがさんが喜ぶと思うからです」などと課題を解決する方法(具体的な行動の仕方=行為)を考える姿。

## 2 本主題で育成する資質・能力, そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

「見方・考え方」		
○「友情, 信頼」についての道徳的価値の本質や意義に着目し, 経験を基に考えたり, 多面的・多角的に考えたりするという「見方・考え方」		
道徳科	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力
	○「友情, 信頼」についての道徳的価値の理解 ・困っていたり悲しい思いをしていたりしている友達に思いを向けることが大切であること ・困っている友達がいたら助けてあげることが大切であること	1 なぜ, 困っていたり悲しい思いをしたりしている友達に思いを向け, 助けてあげることが大切なのかを考え判断し表現する力 2 獲得した「知識・技能」を実現するための具体的な行動の仕方を考え, よりよい行為を判断し表現する力
		③態度
		○判断の仕方や行為の在り方を実生活で具現しようとする態度 (学習の基盤となる「協働性」) ○みそさざえの行為のよさを友達の考えを聴きながら多面的・多角的にたくさん考えようとする力

## 3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	★資質・能力 ・予想される子どもの反応	評価する対象 ◎評価
—	1	○ 学習課題を設定する。	◆ <b>場面①と②を提示し, 自分のみそさざえだったらどうするか</b> の行為と理由を問う。 【働き掛け1】 ※登場人物の関係を伝えた後に, 挿絵を示しながら, 場面①と②を再現構成法で読み聞かせる。 ※場面①と②の提示を通して, 問題意識を高め, 学習課題につなげる。	・お誕生会に行きます。だって, 誕生会は1年に1回しかない大切な日で, 今日しかないからです。 ・音楽会の練習に行きます。先に約束した方を守らなければいけないからです。 <b>【学習課題】 どんなことを考えて, どうすればよいのだろう。</b>	
		○ 学習問題を解決するための見通しをもつ。	◆ <b>場面③と④を提示し, みそさざえが取った行為の善し悪しを問い, やまがらに思いを向け, 行動することの大切さを問う。</b> 【働き掛け2】 ※再現構成法で場面③と④を読み聞かせ, みそさざえが取った行為を押さえ, みそさざえの行為の善し悪しを問う。 ※一人一人の立場を明確にさせるために, ネームプレートを貼らせる。 ※考えをワークシートに記述させる。 ※3人程度のグループで対話(5分程度)する活動を設定し, 理由をできるだけたくさん考えるように指示する。 ※対話で話し合ったことを発表させる。その際に「同じように思うか」「なるほどと思うか」と働き掛けることで, 経験を引き出せるようにする。 ※対話を通して納得できる考えをワークシートに記述させる。 ※ここで押さえない道徳的価値の理解。 ・困っていたり悲しい思いをしたりしている友達に思いを向けることが大切であること ・困っている友達がいたら助けてあげることが大切であること	★特別の教科 道徳①, 協働性 ・よいと思います。 ・よいことだとは思いますが, だったらもう少し早く行ったらよかったですと思います。 ・よいとは思いますが, こっそり抜け出したことがあまりよくないと思います。 ・悲しんでいる友達をそのままにしておくことはよくないことだからです。 ・どういうこと? ・友達が悲しいなって思っているときには, 助けてあげることがよいと思います。だって, 嬉しいからです。 ・そういうことって, あったの? ・休み時間に, 一人で絵を描いていたときに「一緒に遊ぼう」と言ってもらって嬉しかったことがあったの。 ・一人でいるのは寂しいから, 一緒にいてあげようとするのはよいことですね。 ・確かに。一人ぼっちは悲しいものね。 <b>・友達が寂しいかなと思ったときに, 近くに行くと友達に喜ぶと思うから。 ・悲しい気持ちになっている友達を, そのままにしないで助けてあげることがよいと思うから。</b>	ワークシート記述
		○ 課題解決の具体的な行為を考える。	◆ <b>みそさざえの行為の納得できないことを問い, どうすればよかったのか</b> 行為と理由を問う。 【働き掛け3】 ※子どもから引き出したい行為 ・こっそり抜け出さずに, みんなに言ってから行く ・みんなのことも誘って行く ・最初から誕生会に行く → 音楽会の練習は後日にしようと思ひに提案する	★特別の教科 道徳②-1 ・やまがらさんに, 遅れていくことを伝えて練習が終わったらみんなで行けばよいと思います。そうすれば, やまがらさんは寂しい思いをしなくてよいと思うからです。 ・音楽会の練習は, いつでもできるから今日はやめて, みんなでお誕生日のお祝いをすればよいと思います。そうすれば, やまがらさんはもっと嬉しいと思うからです。	
		○ 根拠をもってよりよい行為を判断する。	◆ <b>自分のみそさざえだったらどうするか</b> 行為と理由を問う。 【働き掛け4】 ※どちらを選択するかではなく, 友達のことを思って, 自分はどうするかを根拠を挙げていることが大切である。	★特別の教科 道徳②-2, ③ <b>お誕生会に行きます。でも, 音楽会の練習をする日だから, みんなに言って音楽会の練習は別の日にしようと言います。みんなでお祝いをした方がやまがらがさんが喜ぶと思うからです。</b>	ワークシート記述
		○ 発揮した資質・能力を自覚する。	◆ <b>学習を通して, 納得した考えを問う。</b> 【働き掛け5】	・〇〇さんが言った, 困っている友達がいたら助けてあげると嬉しいという考えがなるほどなと思いました。ぼくは, 思い付きませんでした。 ・〇〇さんが言った, 誕生会は, やっぱり大事でお祝いすると友達も喜んでくれるという考えがすごいと思いました。	ワークシート記述

